

苫小牧市教育委員会会議録

会 議 区 分	苫小牧市教育委員会 第 17 回 定例委員会
日 時	平成22年12月24日 自 15時00分 至 15時56分
場 所	苫小牧市役所第2庁舎2階会議室
出席委員	委員 長 上 原 毅 委員 鈴木 正 樹 委員 佐藤 郁 子 委員 佐藤 守 委員 山 田 眞 久
欠 席 委 員	
会議録署名委員	山 田 眞 久 教 育 長
会議録作成職員	総務企画課総務係主事 近江谷 健
事務局職員	学 校 教 育 部 長 須 藤 孝 生 スポーツ生涯学習部長 小 野 寺 徹 示 学 校 教 育 部 次 長 福 田 小 夜 子 総 務 企 画 課 長 戸 村 眞 規 第1学校給食共同調理場長 山 崎 政 利 第2学校給食共同調理場長 湊 英 夫 総務企画課総務係主査 三 橋 大 輔 第1学校給食共同調理場主事 松 田 清 彦 総務企画課総務係主事 近 江 谷 健
会 議 案 件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（上原委員長） …15時00分
2 会議録署名委員の指名（教育長）
3 報告（教育長）
・暮れも押し迫り、中学校はすでに21日に終業式終え、小学校も本日終業式を迎え、明日から冬休みとなる。昨年は新型インフルエンザの影響による学年閉鎖や臨時休校のため、授業時数の確保が厳しくなり冬休みを短縮した学校が8校もあった。今年は幸い流行に至っていないが、学力向上の取り組みのため小学校では10校、中学校ではすべての学校が数日間補習登校日を設定している。なお、市役所は30日が仕事納めで1月5日までが年末・年始の休暇となる。
・さて、先月18日の教育委員会以降の出来事を拾ってみると、翌19日に前教育委員の吉本氏の地方教育功労者表彰祝賀会、20日に和光中学校開校50周年記念式典、21日に沼ノ端スポーツセンターのオープニングセレモニー、27日に豊川小学校開校30周年記念式典、山なみ祭、文化祭表彰祝賀会、29日に勤労青少年表彰式、学校教職員永年勤続者30年表彰、12月4日にはなぞの幼稚園発表会、中学生主張発表大会、13日に公衆電話協会から子ども手帳の寄贈などがあった。今日も苫小牧に美術館を実現する会から寄付をいただいている。さらにこの2日から10日までの間に第20回定例会が開会されている。
・それでは12月ということなので、全国的な出来事や北海道の話題で今年度を振り返る。（以降、平成22年の教育関連ニュースを振り返り説明）
・次に第20回定例会についての報告をする。まず養護学校設置について質問があったが、これについては継続して今取り組んでいると答弁した。それから公務補のグループ配置に関する意見があったが、これは今すぐはできないが協力し合うことは大事

<p>だということで、今後校長会を通して検討していかなければならないと思っている。</p>
<p>また新学校給食共同調理場ができるが、この人件費はどうなっているのかという質問もあった。さらにはアレルギー対応食をどうしていくのか、栄養教諭をどういう配置にしていくのかという質問があり、栄養教諭については現在前向きに検討していると</p>
<p>答えている。それから民間委託した場合に業者選定をどうするのかという質問があり、これについては文教経済委員会の方に地元を優先するよう陳情が出ていて、全員一致の採択になっているので報告しておく。それから子どもの安全に関わる問題で、どのような安全対策をしていくのかということに関しては、拓勇小学校が今メール配信を</p>
<p>実施しており、これは学校が保護者に向けて同時配信しているもので非常に有効でないかと議員から提案があった。学校の事情もいろいろあるかと思うが保護者のメールアドレスが変わる度に直さなければならないし、何よりも個人情報の問題もある。これについては各学校に実施可能かどうか検討を促しているところで、もう少し時間が</p>
<p>必要だ。それから、いじめの電話相談をもっと拡大してほしいということで、例えば24時間対応できないのかという質問もあった。これは深夜までとなると対応が大変なので、難しいと答えているが、Eメールによる相談についてはさっそく1月に入ったら受け付けるという方向で進めている。その他は小中一貫教育の導入はできないか</p>
<p>だとか、中1ギャップをどうしたらいいのかということも話題になったし、学校の適正規模の計画の進捗状況はどうなっているのかという質問があった。また、いじめの防止条例を市として作ったらどうかという意見もあったが、これについては市民全体の機運を高めるには状況を見極める必要があると答えている。</p>
<p>・社会教育、スポーツ生涯学習関係でもいろいろな質問があった。科学センターのガラスモザイク壁画がはがれている問題は、改修には多額の費用が見込まれるので職員の手で直していきたいと答えている。子どもSOSの家についてもっと広げていく必要があるのではないかという意見もあった。中央図書館の指定管理者導入に関わる質問もあったし、文化財、美術館、静川遺跡についての質問もあった。中央図書館についてはかなり関心を持たれていると感じた。あとは文化交流センターやハイランド屋</p>

<p>内リンクことなど、予算が関わることばかりなので簡単には取りかかれないのでご理解願いたい。</p>
<p>・文教経済委員会では耐震診断の結果についての報告、また第24小学校の建設場所や通学区域について説明し了解を得た。それから補正予算の審議の中で、文化会館の指定管理者については否決されたという経緯になっており、これについては様々な事情があるが、我々教育委員会としても業者との密接なヒアリングを大事にしていかなければならないと反省しているところだ。学校スポーツ開放事業についてはいろいろな質問があったが、最終的には受益者負担という原則の中でこれからは料金を徴収していくということが了解された。</p>
<p>・最後になるが、道教委に内申を上げていた本市教師の人身事故について、減給10分の1、2ヶ月という処分が下った。今後こういうことがないように学校に指導していきたい。</p>
<p>(上原委員長) 教育長報告に関連してご質問があればお受けしたい。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>4 議案審議</p>
<p>議案第1号 苫小牧市教育委員会職名等に関する規則の一部改正について</p>
<p>(学校教育部長)</p>
<p>・苫小牧市教育委員会職員の給与については苫小牧市一般職の職員の給与に関する条例に基づいており、職員の給料月額は職務の級と号給により定められている。職務の級は職務の複雑、困難及び責任の度に応じて遇され、教育委員会では苫小牧市教育委員会職名等に関する規則で定められている。国においても給料表及び級別標準職務表</p>

は同様のものが定められているが、級別標準職務表における職の分類が国と一部異なっている部分があり、係長職は国が3・4級に分類しているのに対し教育委員会では3～5級に分類していた。5級の係長職を廃止するよう国からの指導を受け、市長部局としては労使行為に基づき、すでに級別標準職務表の5級から係長職を削る等の規則改正を行っている。教育委員会としても市長部局同様に級別標準職務表の5級から係長職を削る等の規則改正をする。施行日については平成23年1月1日からとなっており、来年の1月1日の定期昇給では4級係長を5級に昇進させることは行わない。しかしながら、現在5級の係長職の職員は、施行以後も引き続き5級の係長とすることを附則で定めている。以上で説明を終了する。

(上原委員長) 本件について質問があればお受けする。

特にないようなので、原案どおり承認してよろしいか。

(一同「異議なし」の声)

—原案どおり承認—

議案第2号 苫小牧市スポーツセンター規則の一部改正について

(スポーツ生涯学習部長)

・本議案は先ほど教育長から説明のあった第20回定例会において、スポーツセンターの条例の中でプールの機能を廃止することが決まったことから、それに基づいて教育委員会規則を改正するものである。改正部分は、屋内スケート場の開場期間を現在10月1日から3月31日までとなっているところを、5月31日までに変更することで、現在よりも2ヶ月間長く開設する。これによって年間を通じてスケートが必ずどこかの場所で行けるといった内容になっている。さらに、温水プールの規程に関して

<p>はすべて削除され、これによってハイランドスポーツセンターの温水プールの機能についてはすべて廃止される。</p>
<p>(上原委員長) 本件についてご意見・ご質問をお受けする。</p>
<p>(佐藤守委員) 屋内スケート場の使用期間が2ヶ月延びたが、6月から9月末までに 関しては補修期間となるのか。別に利用する予定はないのか。</p>
<p>(スポーツ生涯学習部長) 開設期間外については補修等を行い、今のところ別に利用する考えはない。</p>
<p>(上原委員長) 他になければ本議案については、承認するという事によろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>議案第3号 市民政策提案「苫小牧市新第1学校給食共同調理場の調理部門を民間委託する場合の安全と美味しさの確保のための方策について」への回答について</p>
<p>(学校教育部長)</p>
<p>・10月の定例会で、ぱくぱく給食プロジェクトから市民政策提案書が提出され、それについて回答を今月中に行うということで議案として挙げさせていただいた。内容については給食センターの方から報告させていただく。</p>
<p>(第1給食調理場長)</p>
<p>・この市民政策提案書は、「苫小牧市新第1学校給食共同調理場の調理部門を民間委託する場合の安全と美味しさの確保のための方策について」と題して平成22年9月30日に市民参加条例17条の規定に基づき、ぱくぱく給食プロジェクトより提出され</p>

<p>たものだ。内容については17項目提案されている。それでは回答について説明する。</p>
<p>(以降、提案内容に沿って回答書の読み上げ)</p>
<p>(上原委員長) 本件について質問があればお受けするが、まず私の方から3点ほどよろしいか。1点目は、市民政策提案書の提案理由の中で、担当部局が回答を出す前に意見交換することを望むとあるが、もう実施したのか、それともこれからなのか。2点目は、ぱくぱく給食プロジェクトという団体はどんな活動をされているのか。3点目は参考までに聞きたいのだが、現在の給食費の収納率を小中学校別に向きたい。</p>
<p>(第1給食調理場長) 1点目については、打ち合わせの結果話し合いの場は必要ないとの考えから、実施していない。2点目のぱくぱく給食プロジェクトについては、第1学校給食共同調理場が移転新築されることを契機に、学校給食を考えようということで作られた団体で、平成18年頃からこれまでに何度か学校給食に関しての質問状や意見書をいただいている。3点目の給食費の収納率は小・中学校別の数字は持ち合わせていないが、平成21年度の決算ベースで95.74%となっている。</p>
<p>(上原委員長) ぱくぱく給食プロジェクトは平成18年くらいから活動されているとすることで、おそらく給食を考える団体というのは他にもいろいろあると思うが、他に給食事業のことでいろいろ研究したり提言をしたり、そういう活動をされている団体は他にあるのか。</p>
<p>(第1給食調理場長) 私どもの方にそういう意見だとか要望を提出される団体は、他に承知していない。</p>
<p>(教 育 長) 補足させていただく。ぱくぱく給食プロジェクトについてはPFIの段階の頃からずっといろいろな要望を出してきている。最初の段階では、大きな調理場にするのではなくて親子方式でやるとか、あるいはもっと分散していく方が食の安全の面でリスクが少なくなるのではな</p>

<p>いかというような中身で話が来ていた。このことについては我々教育委員会だけでなく直接市長との懇談もしている。一度解散されたということも聞いていたが、今回具体的に教育委員会の方で管理運営事項を決めていく中で、こういう形でまた提案を持ってきた。メンバーには学校の先生等も入っている。一時期給食については、例えば弁当を持たせた方がいいのではないかとというグループもいくつかあったが、調理場の運営に関わるようなことが始まってからは、そういう動きは他の団体にはないと思われる。</p>
<p>(佐藤守委員) 提案書や回答書はホームページに載るのか。再質問があった場合にはまた回答する流れになるのか。それともこの回答で終わりなのか。</p>
<p>(第1給食調理場長) また何かあればそれに対してどう対応するか決めて、内容的に我々の方で答えなければならないようなものであれば、答えていくという形になる。</p>
<p>(学校教育部次長) 提案書はすでにホームページに掲載されている。</p>
<p>(第1給食調理場長) 回答期限は12月30日となっているので、期限までに回答できるよう段取りをしていて、年明け早々になろうかと思うが回答書もホームページに掲載する。</p>
<p>(上原委員長) 他に質疑がなければ本議案については、承認するという事によろしいか。</p>
<p>(一同「異議なし」の声)</p>
<p>—原案どおり承認—</p>
<p>議案第4号 教育委員会職員の処分について</p>

(人事案件のため、秘密会とする旨議決する)

5 協 議

協議案件なし

6 その他

その他案件なし

7 委員会閉会の宣言（上原委員長）…15時56分